

諏訪小だより

令和4年3月3日
3月特別号
多摩市立諏訪小学校
校長 齋藤 幸之介

教育活動アンケートについて

校長 齋藤幸之介

昇降口に向かって左手、今は6年生の下駄箱がある手前には、紅白の梅が咲いています。例年に比べて今冬の寒さは一層厳しく感じましたが、確実に春が訪れていることが認識できます。これから、木々は葉を蓄え、また、様々な花の色で賑わうだろう、と胸が躍ります。本校もこれからはばらくの間華やかになります。

さて、大変遅くなりましたが、皆様にお寄せいただいた「教育活動アンケート」を取りまとめましたので、お知らせをいたします。

アンケートの結果から、本校の教育活動について多くは御理解をいただけたかとも思いましたが、一方でまだ十分に行われていないことも多々ある、と捉えております。細かい点、特に具体的に御意見を頂戴した内容からは、私共が平素見過ごしていること、またすぐに行われるべきことが実施に至っていなかったことに気付くことができました。これらにつきましては、来年度できうる限り教育活動や教育環境に生かしていきます。しばらく御時間を頂戴することもあるかと思いますが、御理解を賜ればと思います。

直接御意見を頂戴しておりますが、本年度も令和元年度以前と同じ教育活動を行うことが叶わず、学校公開を始めとする保護者の方々が参観される機会が十分に確保できない中、アンケートにお答えいただくのは例年以上に御負担をおかけした、と反省をしているところです。ここにお詫びと感謝を申し上げるとともに、感染症の拡大が収まって今後皆様が御来校いただける機会を一層多く確保できるようにできれと願うばかりです。

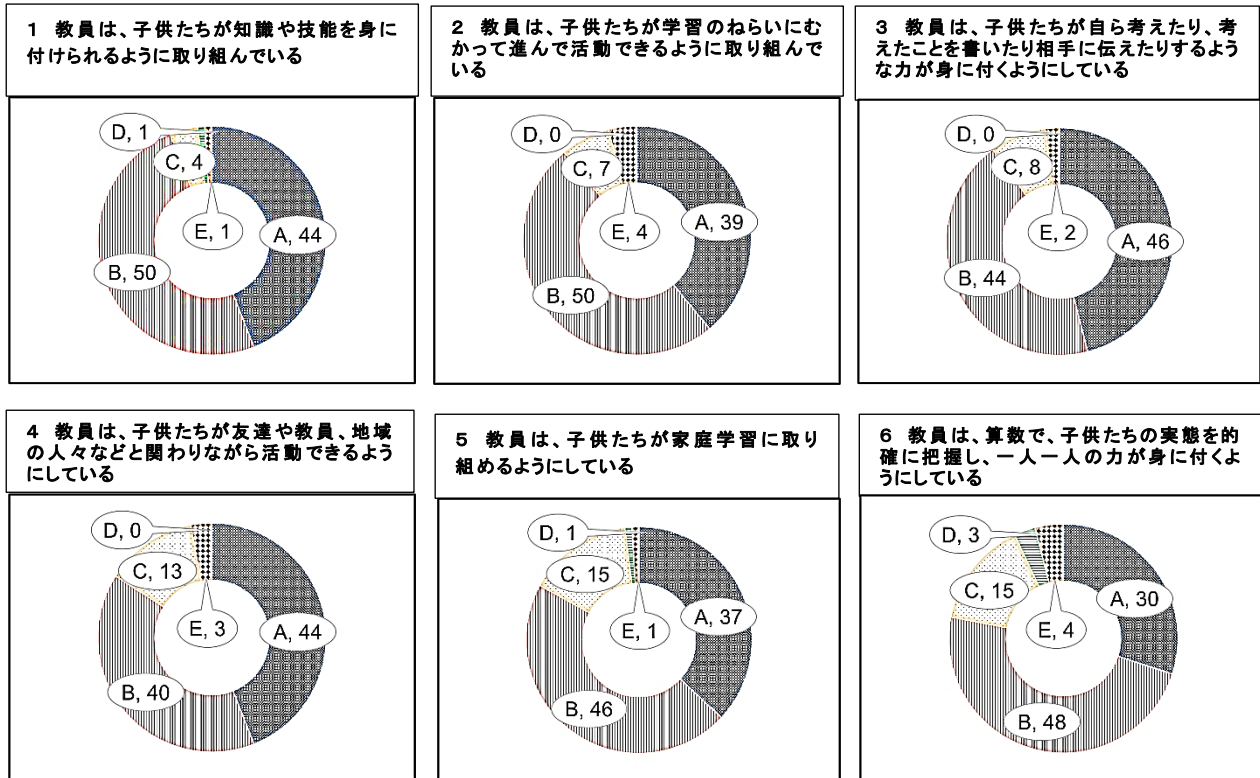
今後共、御理解と御協力をお願いしたく存じます。

次ページ以降にアンケート結果を掲載いたしますが、円グラフにあるA～Eは、以下を示します。

- A-とても当てはまる
- B-おおむね当てはまる
- C-あまり当てはまらない
- D-全く当てはまらない
- E-分からない

また、A～Eの後に書かれている数字は「%」です。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

1 確かな学力を育むために（学校の教育目標「かしこく（広く学び、深く考えよう）」

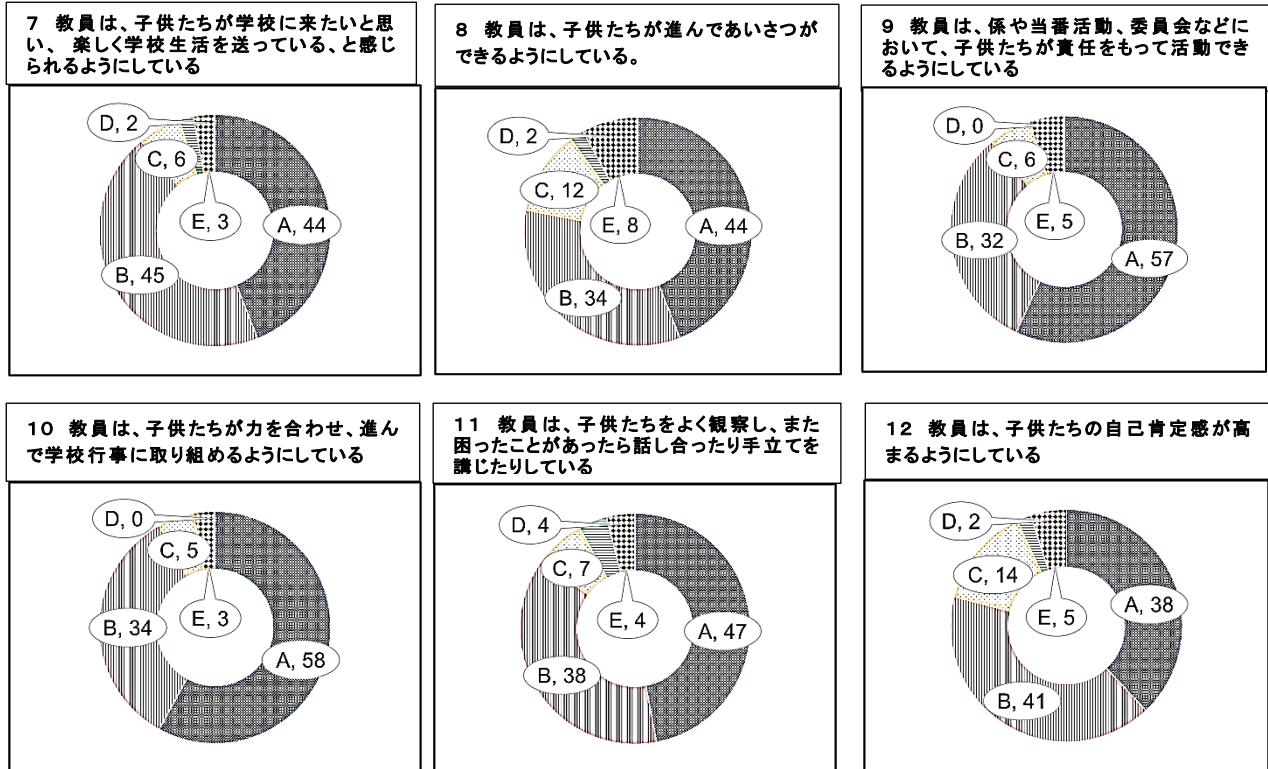


教科等の学習については、概ね御理解をいただいている、と捉えております。昨年度より完全実施となりました、学習指導要領改訂に基づく新教育課程での教育活動も確実に定着してきた、と自己評価しております。子供たちには、自ら問題を解決する力を育成すべく、自ら進んで学習活動に取り組むための様々な力が求められています。具体的には、知識・技能の習得（設問1）、主体的に学習に取り組む態度（設問2）、思考力・判断力・表現力の育成（設問3）が必要です。いずれも一朝一夕には達成できず、粘り強い取組が必要ですが、学年さらには子供たち一人一人に応じた指導・援助を目指していきたい、と改めて思っております（設問6など）。また、地域の人々と関わりながら学習を進めることは成果を確実に上げるために重要である、と改めて確認をしました（設問4）。今年度同様、総合的な学習の時間や生活科を中心に行った野菜の栽培など、本校の環境のよさを生かした活動にも重点を置いてまいります。このことを踏まえながら、今後さらに条件を整えて多様な活動が行われるようにしていきます。又、タブレット端末の活用についてはさらに工夫をしてまいりたいと思います。御協力を頂戴する場合がございますかと存じますが、その際にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

家庭学習の実施については、十分な取組とこれに応じた成果が確実に上がっていない場合がある、と分析をしました（設問5）。これも、子供たち一人一人に応じた働きかけが必要である、と捉えました。学校での学習時同様、適切な評価を行いながら、学力向上の一助とすべく取り組み方を改めて工夫したいと思います。

この項目の最後になって恐縮ですが、夏休みの自由研究の実施に際しましては、皆様にも多大なる御協力を頂戴しましたことに感謝申し上げます。この活動が、平素の学習活動の成果を発揮する場になるように今後も工夫して取り組めるようにするとともに、今年度は何とか成果を具体的にお伝えできる場を設定したいと考えています。

2 豊かな心を育むために（学校の教育目標「やさしく（共に感じ合い、認め合おう）」

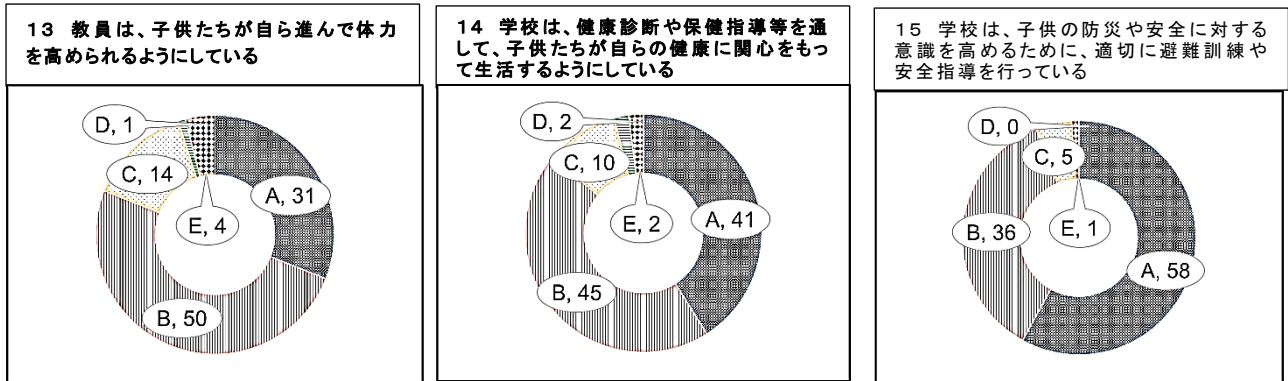


「生きる力」の一つとして位置付けられている「豊かな心」の育成は、何よりも、いじめをなくすためにも最も重視をしていかなければならないことです。学校への期待（設問7）、友達や教職員と関わりながら活動を行うこと（設問9、10）については概ね理解をいただいている、と捉えています。しかし、この点については100%に限りなく近くなることが理想であり、今後もさらに重視をしなければならない、と振り返っています。道徳の授業なども中心としながら、平素の全ての活動において「いじめは絶対に許さない」ことを徹底的に指導すること、それでも起きてしまった場合には「迅速」「正確」に対応すること、また保護者の方々には「丁寧」に御説明することを、校内で改めて確認をしたところでもあります。御理解をいただければと思います。

また、子供たちを適切に見取って一人一人のよさを認めたり励ましたりし、またこのことによって子供たちの自己肯定感を高めること（設問11、12）も「豊かな心」を育てるためには不可欠です。特に、およそ20%の子供たちが自己肯定感が高まっていない、という評価結果となりました。友達を大切にするためにも、まず自分を大事にする、このことを改めて認識し、今後子供たち一人一人をよく観、適切に関わっていくようにしたいと考えています。子供たちへの働きかけ方、特にほめ方などの声のかけ方についても御意見を頂戴しています。今後の指導改善に生かしていきたいと思ひます。

あいさつについては、改善の余地は大いにある、と捉えています。単に「子供たちに挨拶をさせるために」と考えるのではなく、子供たちが進んで挨拶をしたくなるための工夫を考えたいと思ひます。6年生は、卒業プロジェクトの一環として挨拶運動を行いました。このことは下学年にとってとてもよいきっかけとなった、と捉えています。来年度は全校で行う予定です。子供たちの活動も一つの契機としながら取り組んでまいります。

3 たくましい体を育むために(学校の教育目標「たくましく(身体を鍛え、元気に過ごそう)」)



およそ 4/5 の子供たちが自ら進んで体力を高めている、との評価をいただきましたが、約 20% は体力の向上に十分に取り組んでいない、と振り返っています（設問 1 3）。

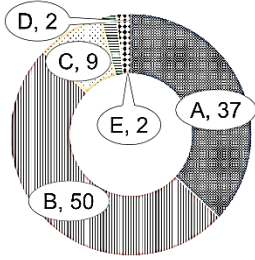
本年度、運動会、また冬を迎えて持久走、ドッジボール大会の実施を中心として、いくつかの取組をしてまいりました。また、平素の体育学習の充実を目指すために、教員が他教員に授業を公開しながら「楽しい体育」を目指すべく授業改善を図ってまいりました。例えば、タグラグビーなど、少し前にはあまり取り組まれてこなかった運動も積極的に取り組んでいます。こと体育学習については、子供たち一人一人がめあてをもって進んで取り組む姿は随所に見られている、と捉えています。しかし、一方で、体力向上のための「継続した」取組となると、働きかけは十分ではない、と反省をしています。改めて、校内の担当を中心に計画を見直し、一層大きな成果が上げられるように工夫してまいります。

健康診断に際しましては、保護者の方々には御協力をいただき、ありがとうございます。御家庭には結果をお伝えするとともに、医療機関での受診をお願いしているところです。本校では、養護教諭が発行する保健だよりで様々な観点からお伝えをしており、御家庭でも具体的にお伝えいただいていることと思います。また、各学級で行われる学級指導では、時期等を踏まえた保健指導も行っています。今後も本校からの情報伝達に努めてまいりますので、皆様に改めて御協力をいただきたいと思います（設問 1 4）。

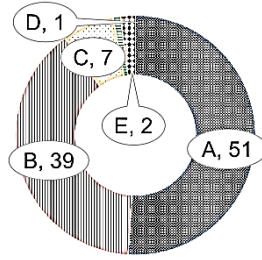
子供たちの安全を保障するための避難訓練は確実に月に 1 回実施しており、また安全指導についても全校朝会や学級指導を中心に行っています（設問 1 5）。避難訓練については、地震や火災だけでなく、不審者が侵入してきた場合も想定し訓練を行っています。コロナ禍で全校が最後に集合することが敵わない場合もございましたが、一方で、全校朝会における集団行動も避難訓練の一環として位置付けており、成果は確実に上がっています。今後も、様々な想定をしながら確実に訓練を行い、子供たちが自ら対応できる力を養えるようにしていきます。

4 連携を充実させるために

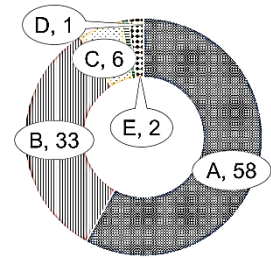
16 学校は、保護者や家庭との連携を図り、子供たちの活動を充実させようとしている



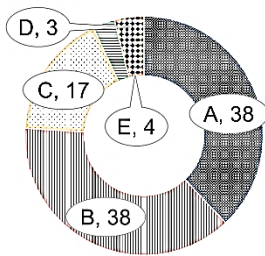
17 読み聞かせや登下校時の見守り等、保護者や地域の方のお力が学校の教育活動で生かされている



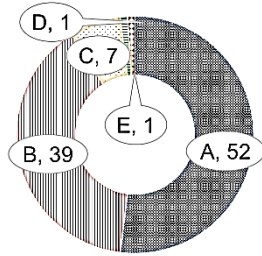
18 学校は、学校(学年・学級)だより等を発行して保護者や家庭に適切に情報を発信している



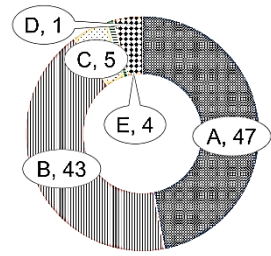
19 学校は、ホームページを活用して保護者や家庭に適切に情報を発信している



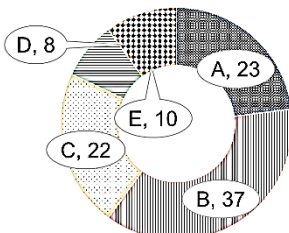
20 教職員は、保護者からの連絡や相談等に対応している



21 教職員は、協力し合って教育活動に取り組んでいる



22 教員は、タブレットの活用を分かりやすく進めており、家庭でも活用しやすくしている

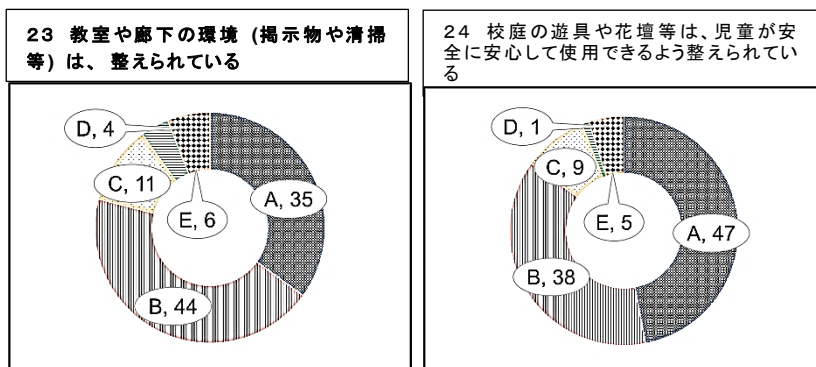


保護者の皆様の御協力の下、様々な連携を図っていただいておりますことに、感謝を申し上げます(設問16)。また、読み聞かせや登下校時の安全確保のために御活躍くださっているボランティアの方々に感謝の御言葉を具体的に頂戴しております(設問17)。ここに御紹介をするとともに、私共からも御礼を申し述べたいと思います。今後共本校から適切な情報を提供し、また個別にも対応をしていきながら、皆様と連携を図ってまいりたいと思います(設問18、20)。なお、学校や学年、また学級から発出される文書の配布が確実に行われない場合がある、との御指摘をいただきました。早急に改善してまいります。すみませんでした。また、学校公開等につきましては、コロナ禍であることを言い訳にはなりません、十分な機会と場を御提供できなかったことをお詫び申し上げます。今後の状況も不透明であり、どこまでできるかは分かりませんが、可能な限り皆様に教育活動を直接御覧いただける機会を設定したいと思います。また、個人面談については具体的な御要望をいただきましたが、来年度は2回実施する予定です。

一方で、ICT機器の活用を中心とした情報提供や連絡方法の改善について御意見を頂戴して

おります。このことは、多摩市より貸与されているタブレット端末の活用にも大いに関係している、と捉えています（設問19、22）。早急な対応がどこまでできるかについての即答は控えさせていただきますが、ペーパーレス化を視野に入れた通信等のデジタル化については大きな課題として位置付けたいと思います。その際には御意見を伺う場合もあるかと思いますが、御協力願えればと思います。

5 施設・設備について



環境については、「冒険の丘」を始めとする本校のいくつかの環境・設備については高く評価をいただいている場合もありますが（設問24）、一方で、整備の仕方を中心に御意見を頂戴しております（設問23、24）。具体的には、教室や廊下にゴミが落ちているなど、汚れに関する事です。このことについては、改めて改善を図りたいと思います。

なお、トイレの改修については、令和4年7月から9月にかけて工事を行い、洋式化が図られます。一部は和式便器が残ります。長きに亘り子供たちには不便を強いてきましたが、9月以降には新しい環境が整うこととなります。保護者の方々にもお力添えを賜りました。ありがとうございました。これに伴い、夏休みが例年より長くなり（7月21日～8月31日）、7・9月は子供たちの登校とトイレ改修との期間が重なるために御不便をおかけしますが、御理解と御協力をいただきたく存じます。また、これに伴い、来年度は月1回程度の土曜日授業を行うこととなりますので、併せてお知らせをいたします。